

11年度に使用した評価ツールを Ver.1として、翌年度、上記の修正を加え自己評価ツール Ver.2 を作成することとし、11年度の活動は終了した。

### <平成12年度>

平成11年度の検討結果をもとに、自己評価ツール Ver.2 を作成し、25人の看護婦に自己評価をしてもらった。その評価結果を研究者が検討するとともに、自己評価を行った看護職のうち14人の看護職を対象にフォーカスグループインタビューに参加してもらい、ツールの妥当性や信頼性を確かめた。これらの結果から自己評価 Ver.3 の開発に向けた課題をまとめた。

**第一段階**：11年度の検討結果をもとに、Ver.2 を作成した。

主な修正点を以下に記す。

1) 対象患者の条件は、①疼痛がある患者、②看護婦による保清が行われている患者、の2条件にした。

2) 対象看護婦の条件は、上記患者条件に合致する患者と調査日を決定し、その日その患者を最もよく知っている看護婦とした。

3) 過程評価のツール Ver.1 はすべて質問に対して記述方式で回答する形式であったが、質問紙に評価判定尺度をあらかじめ明示し選択する項目を多くした。かつ本人が選択した尺度が妥当であるかどうかを研究者が検討するため、詳細を記述する欄を設けることとした。

(資料1、2-1)

4) 構造評価ツールは、研究内で検討し作成した。(資料2-2)

**第二段階**：フォーカスグループインタビュー

Ver.2 を使用し、25人の看護職に過程自己評価を、5人の病棟婦長に構造自己評価を実施してもらった。

過程自己評価を実施した看護婦のうち、14人にはフォーカスグループインタビューに参加してもらい、ツールの使いやすさや信頼性などについて、意見を聞いた。

#### 1. 調査対象者

看護 QI プログラム・過程自己評価を依頼した看護職の中からフォーカスグループインタビューへの参加を依頼した。10病棟14人の看護職が参加した。

#### 2. フォーカスグループインタビューの方法

インタビューは平成12年12月19日の14:00～15:30の90分間を設定して実施した。参加者は7人ずつ2つのグループに分かれ、各グループの進行担当者が進行し、質問項目や記載方法などについて意見を抽出した。参加者は自分が記載した過程自己評価用の質問紙を見ながら回答する方法をとった。

#### 3. 結果

フォーカスグループインタビューの結果を表14に示す。

結果をまとめると、①質問へ答える際に、患者のいつの時点のことを答えるのかわからない点がある。当日の患者の状況を答える項目か、過去の経験を想起して記載する項目かを文中に明記する、②自己評価であるので、質問の意図、すなわち看護ケアのどの領域を評価するための項目かを示す必要について検討を要する、③記載の所要時間の短縮の工夫が必要、④一つの文章に複数の問いが含まれる箇所があり、質問文の修正が必要である、⑤評価判定尺度から選択回答に、複数回答が多くみられた。選択肢の設定の工夫が必要、などである。

表 1 4 フォーカスグループインタビュー結果

**<評価項目 1>**

**\*\*さんの1日の流れについて\*\*さん本人あるいは、ご家族に伝えましたか。以下から選択し、その内容を記入して下さい。**

- a. 1日の流れ（予定）を決める際、患者かご家族と協議した
- b. 時間や誰がするかという予定を伝えた
- c. 何が起こるか（あるか）を伝えた
- d. 予定を伝えていない

**<伝えた内容を具体的にお書き下さい>**

**<伝えていない理由をお書き下さい>**

- ・「1日の流れ」とはいつの時期をさしているのかははっきりしない。
- ・1日のスケジュールを書くにはスペースが不足。
- ・患者との言葉のやり取りなのかスケジュールのみなのか悩んだ。
- ・「具体的内容」の範囲がわからなかった。
- ・患者とは協議したが家族とはしていない場合に選択に悩んだ。
- ・家族がいなかった場合に悩んだ。
- ・a. 1日の流れ・・・の中に、b. 時間や誰が・・・が含まれているとは思わず、重複回答になってしまった。
- ・長期入院患者で1日のスケジュールがほとんど決まっている人なので特に話す必要がなかった。
- ・術後の患者など、状態にあわせて予定が変わるので、事前にではなくその場で伝えた。つまり事前に「協議」はできない。
- ・看護評価のツールになるなら悪いようには書きたくなかった。
- ・「c. 何が起こるか」の「起こる」だと悪い意味に取れる。「何があるか」のほうがよいのではないか。

**<評価項目 2>**

**\*\*さんの今後の見通しを記入してください。**

- ・どの時期の見通しなのか迷った。
- ・急性期・ターミナル期では目標が違うのではないか。
- ・ICUの患者は一般病棟へ帰った後の見通しは、看護婦は把握しにくい（医師から患者に説明されるので）。そのため書きにくかった。
- ・この問いに答えるため医師に確認して書いた。

**<評価項目 3>**

**\*\*さんの見通しを\*\*さんの本人あるいはご家族にどのように伝えていきますか。以下から選択し、その内容をお書き下さい。**

- a. 自分が伝えた、もしくは医師が伝える場を作り伝えた
- b. 間接的に伝えた（例：誰かに頼んだ、パンフレットを渡した）
- c. 伝えていない

**<どうして伝えたのですか。また、伝えていない場合は、なぜ、伝えなかったのですか。具体的にお書き下さい>**

- ・内容がどちらでも当てはまるので複数回答になった。
- ・家族の希望で本人に内緒の場合はどうなのか悩んだ。
- ・真実ではないが伝えている場合はどうなのか。
- ・患者には伝えず、家族にだけ伝えている場合があり悩んだ。
- ・医師が主となって患者に伝えることが多いので、看護婦が主体的に伝えることはない。「自分が伝えた」と「医師が伝えた」は別の項目になるのでは。
- ・aには二つの意味があるのに、1つの項目になっている。
- ・「見通し」は治療方針などの医療の見通しと、看護のADL拡大などの見通しとあり意味が違ってくるのではないか。
- ・ターミナルでは医師と看護婦の目標が違うので答えにくい

#### <評価項目5>

あなたは\* \*さんやご家族が病気や入院について、どうなりたいと思っているのかを知っていますか。以下から選択し、その内容をお書き下さい。

- a. 客観的な根拠および患者の直接的な言動から確認し知っている
- b. 患者の反応や言動から察した
- c. その患者のことではなく一般的な患者の反応から憶測した
- d. 知らない

<患者さんやご家族がどうなりたいと思っているのか具体的にお書き下さい>

- ・見通しの定義がわからない。
- ・患者の性格などによって選択肢が違ってくるのではないか。

#### <評価項目7>

ご家族のケアへの参加についてお聞きします。

7-1) \* \*さんのケアの中でご家族ができることをしてもらっていることはありますか。

あるいは一緒に行っていることはありますか。

7-2) その内容を具体的にお書き下さい。

7-3) なぜ、ご家族と一緒にしようと思ったのですか。

7-4) ご家族にしてもらう、あるいは一緒に行くにあたって何か工夫していますか。

7-5) なぜ、ご家族と一緒にしていないのか理由があればお書き下さい

- ・ケアへの参加の範囲がはっきりしない。
- ・そばにいる家族にちょっと手を貸してもらっているので深く考えなかった。
- ・配膳とか体位変換とかも家族の参加なのか悩んだ。
- ・看護婦の仕事を家族にってもらうのに抵抗があった。
- ・この質問は家族への教育・指導を意図していると思った。
- ・寝たきりの患者に水のみを取ってあげてくださいといったら、それは「はい」になるのだろうか。
- ・ダイレクトに「家族の絆を深めるために何をしていますか」と書いてあったほうが的確に答えられる。そうでなければ指導の意味にとらえてしまう。
- ・ターミナルの患者だったので、「家族の絆を深めるために」と書いてなくてもすんなり答えられた。
- ・術後の患者はターミナルの患者のようなわけにいかない。

- ・看護婦の仕事を家族に押し付けているような心の負担があり、その点を意識して書きにくい。
- ・私も以前は看護婦が全部やるものと思っていたが、家族から「看護婦が全部やってしまい私の仕事がなくなった」と言われ、家族の意見を取り入れた。

#### <評価項目 8 >

＊ ＊ さんの痛みについてお聞きします。

- 8-1) ＊ ＊ さんの痛みのコントロールをどのようにしていますか。本人の生活や反応を含めて痛みのコントロールをどのようにしているかを、具体的に記入して下さい。
- 8-2) その結果、 ＊ ＊ さんの痛みはコントロールされましたか。
- 8-3) 痛みがコントロールされている、あるいはされていないと思う理由を述べて下さい。
- 8-4) 痛みの治療について医師にどのように働きかけていますか。以下から選択し、かつその内容を記入して下さい。

8-5) ＊ ＊ さんの痛みの状態はどのように説明していますか

8-6) 痛みに対してなぜその方法を用いているか、 ＊ ＊ さんに説明していますか。

8-7) 痛みに対してどのような看護ケアを提供するか説明していますか。

8-8) 痛みに関する見通しを ＊ ＊ さんにどのように説明していますか。

- a. 現状、根拠を含めて改善策を言っている
- b. 改善策はあるが根拠を述べていない
- c. 現状を述べているが改善策がない
- d. 意見を言っていない

- ・薬でコントロールされている場合は「意見を言っていない」でよいか。
- ・説明するところが多い。
- ・8-5)の問いは、告知と未告知では答えが違って来る。
- ・原因や根拠を考えて説明していないので答えに困った。
- ・詳しくは説明していないが、なんとなく話しているので「なぜ」という質問には答えに困った。
- ・8-6)への記述では医師の指示がオーダーされているので「なぜ」という質問には答えに困った。
- ・根拠を問う質問が多く書きづらかった。
- ・患者の「生活や反応」を含めて、という質問がわかりにくい。ペインコントロールは入院前から行っているのでは生活となると自宅での生活も含まれるのか。時間的にいつのことを聞いているのかよくわからない。
- ・急性期の患者だとその場で痛み止めを使用するので、書くのは難しい。
- ・「生活」「反応」がどのようなことなのか迷う。
- ・8-2)について、外科だと、とんぷくの薬が効果が切れると痛みは出てくるので、コントロールされたかどうか聞かれても困る。どうなればコントロールされたか基準がなければ書けない。
- ・手術後3日くらいまでは痛みがあって当然なので、痛みの基準が必要なのではないか。
- ・看護ケアとして「安楽枕の使用」や「体位変換」は看護婦が当たり前に行っていることなので、意識して書けない。
- ・「痛みのコントロール」と書いてあり、「コントロール」という言葉が薬になりやすい。

- ・「コントロール」ではなく「ケアの調整をしていますか」がよい。
- ・「コントロール後患者の生活は拡大されたか」と書いてあるとよい。
- ・8-3)の問いは「痛みのケアをしたことで患者の生活・反応は変わりましたか」と書いてあるとよい。
- ・看護婦なりの痛みの判断基準を問うているのかと思った。
- ・医師に伝えてもモルヒネの量を増量しない。そうすると痛くて体位変換も何もできない。結局生活拡大もできない。
- ・痛みの説明については、医師が説明しているかどうかにより、回答が違う。

### <評価項目12>

看護婦同士の協力についてお聞きします。

12-1)この1週間で、他の看護婦を手伝ったことがありますか。

12-2)手伝った方はどうしてそのような手伝いをしたのですか。

12-3) \*\*さんに限らず、病棟全体を巻き込むような突発的なことが（心停止・急変など）が起こった時にあなたはどうしましたか。具体的に教えて下さい。

- ・いつのこと、どの患者、何を書くのか迷った。書き込むスペースが少ない。
- ・日勤・準夜勤・深夜勤のいつのことを書くのか示して欲しい。

### <全体として>

- ・「具体的に・・・」とあるがどこまで具体的かわからない。
- ・「いつ」のことをかくのかわからない。
- ・記述式のところが多い。回答に時間を要した。つらくて休みながら記入した。
- ・仕事が忙しく、家に持ち帰って書いた。
- ・設問が重複しているようで、はじめに戻ったり読み直したりしたので時間がかかった。例) 5.どうなりたい と 6-3) どうしてほしい。
- ・カルテを見たり、考えたりしたので時間がかかった。
- ・受け持ち患者ではなかったの、書くのに時間を要した。

### <患者の選定条件について>

- ・選定条件に該当する患者がいなかったの、受け持ちではない患者のカルテを見ながら記入した。

**第三段階**：第二段階までのデータをもとに、ツールや方法について修正すべき事項をまとめた。

(2) 第三者評価と自己評価の方法の比較

第三者評価と自己評価のプログラムの比較を表を表15に示す。

第三者評価項目と自己評価項目の対照表は、表16に示す。

(3) 第三者評価結果と自己評価結果の比較

第三者評価の結果と、自己評価結果の

比較を、表17、18に示した。構造評価は評価項目が50項目である。そのうちデータ欠損項目を除いた項目で、第三者評価と自己評価の一致度をみると、評価が一致している項目は92%から80%であった。

一方過程評価では、評価項目26項目中、同様にデータ欠損を除いての一致度は、33.3%から76%と、バラツキがあった。今回対象となった5施設中4施設で評価が違ったのは、[4-B-4 ④と8-2) 3] \*\*さんの痛みはコントロールされていますか、[2-A-1 ⑦イと8-5] 痛みの状態は\*\*さんにどのように説明してい

表 16. 第三者評価項目と自己評価項目の対照表

第三者評価用評価項目	自己評価用評価項目	評価尺度
<p>2-B-1 ①                      ＊＊さんの1日の流れについて患者あるいは、ご家族に伝えた内容を教えてください。</p> <p>(伝えていない場合は) それは何故ですか?</p>	<p>1. ＊＊さんの1日の流れについて＊＊さん本人あるいは、ご家族に伝えましたか。以下から選択し、その内容を記入してください。</p> <p>a. 1日の流れ(予定)を決める際、患者やご家族と協議した                      b. 時間や誰がするかという予定を伝えた                      c. 何が起こるか(あるか)を伝えた                      d. 予定を伝えていない</p> <p>&lt;伝えた内容を具体的に書き添ってください。&gt;</p> <p>&lt;伝えていない理由をお書きください。&gt;</p>	<p>・予定を決める際、患者と協議している 3点                      ・時間や誰がするかという予定を伝えている 2点                      ・何が起こるか(あるか)を伝えている 1点                      ・伝えていない 0点</p>
<p>1-4 ③                      ＊＊さんの身体状況・状態について、今一番気をつけている点は何ですか?</p> <p>1-4 ④                      ＊＊さんの今後の見通しを話してください。</p>	<p>2. ＊＊さんの身体状況・生活の状況について今一番気をつけていることとそれに対する看護ケアをお書きください。</p> <p>3. ＊＊さんの今後の見通しを記入してください。</p>	<p>合計得点で判断する                      ・医学的に把握している 1点                      ・患者の生活状況がある 1点                      ・その患者に対する看護ケアがある 1点</p>
<p>1-4 ⑤                      ＊＊さんの見通しを患者あるいはご家族にどのように伝えていきますか?</p> <p>どうして伝えたのですか?                      (伝えていない回答の場合) なぜ、伝えなかったのですか?</p>	<p>4. ＊＊さんの見通しを＊＊さん本人あるいはご家族にどのように伝えていきますか。以下から選択し、その内容をお書きください。</p> <p>a. 自分が伝えた、もしくは医師が伝える場を作り伝えた                      b. 間接的に伝えた(例:誰かに頼んだ、パンフレットを渡した)                      c. 伝えていない</p> <p>&lt;どうして伝えたのですか。また、伝えていない場合は、なぜ、伝えなかったのですか。具体的にお書きください。&gt;</p>	<p>伝えている 2点                      ・自分が伝えた又は医師が伝える場を作り伝えた 1点                      ・間接的に伝えた 1点                      伝えていない 0点</p>
<p>1-1 ①                      あなたは、＊＊さんやご家族が病気や入院について、どうなりたいと思っているのかを知っていますか?</p> <p>それは、どんなことですか?</p> <p>②                      それは、どうしてわかったのですか?</p>	<p>5. あなたは＊＊さんやご家族が病気や入院について、どうなりたいと思っているのかを知っていますか。以下から選択し、その内容をお書きください。</p> <p>a. 客観的な根拠および患者の直接的な言動から確認し知っている                      b. 患者の反応や言動から察した                      c. その患者のことではなく一般的な患者の反応から感測した                      d. 知らない</p> <p>&lt;患者さんやご家族がどうなりたいと思っているのか具体的にお書きください。&gt;</p>	<p>知っている 3点                      確認済み                      ・推測 2点                      ・感測 1点                      知らない 0点</p>

第三者評価用評価項目	自己評価用評価項目	評価尺度
<p>1-2 ① あなたは、*さんやご家族がどのような情報を欲しいと思っ ているか知っていますか？</p> <p>それは、どんなことですか？</p> <p>② それはどうしてわかったのですか？</p>	<p>6. 患者さんやご家族が望んでいることについてお聞きします。 6-1) あなたは、*さんやご家族がどのような情報を欲しいと思っ ているか知っていますか、以下から選択し、その内容をお書きください。 a. 客観的な根拠および患者の直接的な言動から確認し知っている b. 患者の反応や言動から察した c. その患者のことではなく一般的な患者の反応から検測した d. 知らない &lt;それはどのようなことですか、具体的ににお書きください。&gt;</p>	<p>知っている 3点 ・推測 2点 ・検測 1点 0点</p> <p>知らない</p>
<p>2-A-1 ③ その情報をご家族にどのように伝えましたか？</p>	<p>6-2) その情報を*さんやご家族にどのように伝えましたか。 a. 自分が伝えた、もしくは医師が伝える場をつくり伝えた b. 間接的に伝えた (例：誰かに頼んだ、パンフレットを渡した) c. 伝えていない</p>	<p>伝えている 2点 ・自分が伝えた又は医師が伝える場を作り伝えた 1点 ・間接的に伝えた 0点 伝えていない</p>
<p>1-3 ① あなたは、*さんやご家族がどのようなことをして欲しいと思っ ているか知っていますか？</p> <p>それは、どんなことですか？</p> <p>② どうしてそのように思うのですか？理由を話してください。</p>	<p>6-3) あなたは、*さんやご家族がどのようなことをして欲しいと思 っているか知っていますか、以下から選択し、その内容をお書きくだ さい。 a. 客観的な根拠および患者の直接的な言動から確認し知っている b. 患者の反応や言動から察した c. その患者のことではなく一般的な患者の反応から検測した d. 知らない &lt;それはどのようなことですか、具体的ににお書きください。&gt;</p>	<p>知っている 3点 ・推測 2点 ・検測 1点 0点</p> <p>知らない</p>
<p>③ *さんやご家族がして欲しいと思っ ていることについて、どうして いますか？</p>	<p>6-4) *さんやご家族がして欲しいと思っ ていることについて、どう していますか、できるだけ具体的に お書きください。</p>	<p>具体的方略を持っている/実施している 1点 " 持っている 0点</p>
<p>※3-1.2 ① *さんのケアの中でご家族が できることをしてもらっているこ とがありますか？あるいは、一緒 にやっていることはありますか？ a. 「はい」の場合⇒質問②～④へ b. 「いいえ」の場合⇒質問⑤へ</p>	<p>7. ご家族のケアへの参加についてお聞きします。 7-1) *さんのケアの中でご家族が できることをしてもらっているこ とがありますか。あるいは一緒 に行っていることはありますか。 ( )はい⇒質問7-2)、7-3)、7-4)へ 進んでください ( )いいえ⇒質問7-5)へ 進んでください 7-2) その内容をお書きください。</p>	<p>家族の絆を強める意図がある 1点 " 意図がない 0点</p>

第三者評価用評価項目	自己評価用評価項目	評価尺度
<p>② それはどんなことですか？</p> <p>それは（意図的にご家族とするのは）どうしてですか？</p> <p>※ ③ 患者や家族はどのように捉えていますか？</p> <p>※ ③ そのことをご家族、本人に確認しましたか？（それはどうしてですか？）</p>	<p>7-3) 何故、ご家族と一緒にしようと思ったのですか。</p>	
<p>※ ④ それをするために何か工夫していることはありますか？</p> <p>※ (家族と一緒にしない場合) それはどうしてですか？</p>	<p>7-4) ご家族にしてみたら、あるいは一緒にいるに当たって何か工夫していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>a. 工夫している</p> <p>b. 工夫していない</p> </div> <p>&lt;工夫している場合は、具体的な内容をお書きください。&gt;</p> <p>7-5) 何故、ご家族と一緒にしていないのか理由があればお書きください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>a. 理由がはつきりしている</p> <p>b. 理由がない</p> </div> <p>&lt;理由がはつきりしている場合、その具体的な内容をお書きください。&gt;</p>	<p>家族と一緒にするために工夫している点がある (家族の絆を深める意図があつて) あえて何もしていない ・工夫していない</p> <p>1点 0点</p>
<p>④B-1～3 ① *さんには、痛みがありますか？ a. 「はい」の場合 ⇒③以降の質問へ b. 「いいえ」の場合 ⇒②以降の質問へ</p> <p>② (痛みがないという回答では) それは、痛みがコントロールされているかどうかですか？ a. 「はい」</p>	<p>8. *さんの痛みについてお聞きます。 8-1) *さんの痛みのコントロールをどのようにしていますか。本人の生活や反応を含めて痛みのコントロールをどのようにしているかを、具体的に記入してください。</p>	<p>本人の生活、反応を含めて痛みのコントロールを述べている ・個性が見えない/マニュアル的/処方のみを述べている 答えられない</p> <p>2点 1点 0点</p>



第三者評価用評価項目	自己評価用評価項目	評価尺度
③ ***さんの痛みのコントロールを、どのようにしていますか？具体的に教えてください。		
④ ***さんの痛みはコントロールされていますか？ (されている場合、されていない場合いずれでも) どうしてそう思うのですか？	8-2) その結果、***さんの痛みはコントロールされていますか。 8-3) 痛みがコントロールされている、あるいははされていないと思う理由を述べてください。	根拠も含めて効果判定を述べている ・効果判定をしているが根拠が不明瞭である ・効果を判定していない 2点 1点 0点
⑤ 痛みの治療について医師にどのように働きかけていますか？その内容を教えてください。	8-4) 痛みの治療について医師にどのように働きかけていますか。以下から選択し、かつその内容を記入してください。 a. 現状、根拠を含めて改善策を言っている b. 改善策はあるが根拠を述べていない c. 現状を述べているが改善策がない d. 意見を言っていない <働きかけた言葉や内容を具体的に記入してください。>	意見を言っている ・現状・根拠を含めて改善策を言っている ・改善策はあるが根拠を述べていない ・現状を言っているが改善策がない 意見を言っていない 3点 2点 1点 0点
⑤-A-1 ① イ) 痛みの状態は***さんにどのように説明していますか？ ロ) 痛みに対する処置・治療の選択は***さんにどのように説明していますか？ (その痛みに対して、何故その方法を用いているのか)	8-5) ***さんの痛みの状態は本人にどのように説明していますか。 a. 原因、根拠を具体的に伝えている b. 具体的ではないが伝えている c. 本人が原因・根拠をわかっていると思うので、伝えていない d. 全く伝えていない 8-6) 痛みに対してなぜその方法を用いているか、***さんに説明していますか。 a. 説明している b. 説明していない <説明している方はどのように説明しているか、具体的に書いてください。> 8-7) 痛みに関してどのような看護ケアを提供するか説明していますか。 a. 説明している b. 説明していない <説明している方はどのように説明しているか、具体的に書いてください。>	イ 具体的に原因・根拠を言っている ・伝えているが内容は不明 ・言っていない 2点 1点 0点 ロ・ハ・ニ) 各項目毎に ・説明している ・説明していない 1点 0点
ハ) 痛みに対する看護ケアを***さんにどのように説明していますか？		

第三者評価用評価項目		自己評価用評価項目		評価尺度
二) 痛みに関する見通しを**さんにどのように説明していますか？	8-8) 痛みに関する見通しを**さんにどのように説明していますか。 a. 説明している b. 説明していない ＜説明している方はどのように説明しているか、具体的に書いてください。＞	9-1) **さんの痛みを**さんにどのように説明していますか。 ( )はい → それではなぜですか。 ( )いいえ → それではなぜですか。	ケアの妥当性を検討している // 検討していない	1点 0点
4-C-1 ① **さんの痛みに関する看護ケアに関して、あなたが前に行っていたこと、今日あなたが変えたことはありますか？ a. 「はい」 ⇒ それほどのようなことですか？ b. 「いいえ」 ⇒ それではなぜですか？	9-2) **さんに限らず、これまでの経験であなたがケア方法を変えたとき、他のスタッフにその内容を伝えましたか。以下から選択してください。 a. 伝えた b. 伝えていない c. 該当なし(これまでの経験上、ケア方法を変えたことがない) ＜a. 伝えた を選択された方は、該当するものすべてに○をつけてください。＞ ( ) 変えた内容 ( ) 変えた理由 ( ) 今後の見通し (例：次の評価時期など)	9-3) どのような方法で伝えましたか。該当するものすべてに○をつけてください。 ( ) 申し送りなどを通して伝えた ( ) 変更したことを記録に残した ( ) 看護計画を変更した	伝える内容 ・実施したこと (方法・内容) と今後の計画 ・実施したこと (方法) と今後の計画 ・実施したこと (方法) と今後の計画 ・実施したこと (方法) と今後の計画 ・伝えていない	4点 3点 2点 1点 0点
② どうして変えたのですか？それについて話して下さい。				
③ 以前あなたがケア方法を変えた時、どのように他のスタッフに伝えましたか？				
④ 変更したケア内容を記録に残しましたか？ a. 「はい」 ⇒ あとでそれを見せて下さい。 (記録を確認する) b. 「いいえ」 ⇒ この質問を終わる。				

第三者評価用評価項目	自己評価用評価項目	評価尺度
<p>④ [4-A] **さんの保清に関して患者の個別性に合わせて、病棟で普段する保清のやり方に追加したり、修正したりしたことがありますか？</p> <p>② どうして追加（あるいは修正）したのですか？ それについて話して下さい</p> <p>(変更していない回答では) それはなぜですか？</p>	<p>10. **さんの保清についてお聞きします。</p> <p>10-1) 今日、実施した**さんの保清に関して患者さんの個別性に合わせて、病棟で普段する保清のやり方に追加したり、修正したことがありますか。</p> <p>( )はい → 10-2)へ進んでください ( )いいえ → 10-3)へ進んでください</p> <p>10-2) 追加・修正した内容とその理由をお書きください。</p> <p>10-3) それはなぜですか。</p>	<p>患者の状況に合わせて行っている ・ 特性、その人らしさ、価値観、希望 ・ 状況、流動的な状態 ・ 清潔の必要性の考慮 (・統合してケアの方法を判断している) 行っていない 根拠があつて行っていない場合 1点 ・ 特性、その人らしさ、価値観、希望 ・ 状況、流動的な状態 ・ 清潔の必要性の考慮 (・統合してケアの方法を判断している) 根拠がない 0点</p>
<p>⑥ [6-B] **さんのADL(日常生活動作)を上げていったり、維持していくときにお聞きします。</p> <p>**さんにとって、苦痛や危険が伴うけれども、回復のためや**さんの希望に添うようにケアを進めたことはありますか？</p> <p>a. 「はい」⇒その内容を具体的に教えて下さい。</p> <p>b. 「いいえ」⇒他の人ではありませんか？</p>	<p>11. **さんのADL(日常生活動作)を上げていったり、維持していくときのことをお聞きします。</p> <p>11-1) 苦痛や危険を防ぎながらADL拡大を行ったことがありますか。 (例: 術後のADL拡大や心筋梗塞のリハビリ開始など)</p> <p>( ) はい ( ) いいえ⇒他の患者で構いませんので引き続き以下の質問にお答えください</p> <p>( ) 該当なし → 12-1)へ進んでください</p> <p>11-2) そのケアをすすめた時の予測された危険性(リスク)は何ですか。</p> <p>11-3) それをどのように防ぎましたか。</p> <p>11-4) そのケアをすすめる中で中止したことがありますか。 ( ) はい ( ) いいえ⇒他の患者で構いませんので引き続き以下の質問にお答えください</p> <p>( ) 該当なし → 12-1)へ進んでください</p> <p>11-5) それはどんなサインがあつて中止しましたか。</p>	<p>合計得点で判断する ・ 患者のリスクを判断している 1点 ・ 看護行為が目指しているものや患者の可能性・希望を理解している 1点 ・ 危険なサインを理解している 1点</p>
<p>⑧ [8-C] ケアを中止したことのない回答では) **さんではなく今までに経験した患者さんでも構いません。</p> <p>苦痛や危険が伴うけれども、回復やその患者さんの希望に添うように看護ケアをすすめる中で、どんなサインがあつて中止しましたか？</p>		

第三者評価用評価項目	自己評価用評価項目	評価尺度
<p>※ [5-3] ① この一週間で、他の看護婦を手伝ったことについて話して下さい。</p> <p>※ ② どのようなことをしたのですか？</p> <p>※ ③ どのようにしてそのような手伝いをしたのですか？</p> <p>※ ④ 病棟全体を巻き込むような突発的なこと（心停止・急変など）が起こったときにはあなたはどのようにしましたか？具体的に教えて下さい。</p>	<p>1 2. 看護婦同士の協力についてお聞きします。 12-1) この1週間で、他の看護婦を手伝ったことがありますか。 a. はい b. いいえ → 12-3)へ進んでください &lt;a. はい を選択した方は、手伝った内容をお書きください。&gt;</p> <p>12-2) 手伝った方はどうしてそのような手伝いをしたのですか。 a. 自主的に手伝った b. 頼まれて手伝った c. 指示されて手伝った</p> <p>12-3) **さんに限らず、病棟全体を巻き込むような突発的なこと（心停止・急変など）が起こった時にあなたはどのようにしましたか。具体的に教えて下さい。</p>	<p>・自主的に手伝う 2点 ・仲間から頼まれて手伝う 1点 ・手伝っていない 0点</p> <p>&lt;状況の把握&gt;と&lt;自分の役割&gt;の合計得点で判断する</p> <p>・状況の把握をしている 2点 ・流動的な状況を把握している 1点 ・固定的な状況を把握している 1点 ・自分の役割を認識している 1点 ・認識していない 0点</p>
<p>※ [6-1] ① 医師の指示内容が患者の状態にあっていないと思ったとき、あなたはどのようにしましたか？ そのときの状況を含めて話して下さい。</p>	<p>1 3. **さんに限らず、医師の指示内容が患者の状態にあっていない、あるいは不確かだと思ったとき、あなたはどのように判断し、何を行いましたか。一般論ではなく患者さんの状況、医師に働きかけた具体的な言葉、内容をお書きください。</p>	<p>・自分の判断を含めて、あっていないと言っている 3点 ・患者の状況を含めて、あっていないと言っている 2点 ・あっていないことのみを言っている 1点 ・あっていないと思っただけでも、何も言っていない 0点</p>
<p>[1-5] ② 今日、あなたは自分の役割をどのように**さんやご家族に伝えましたか？</p>	<p>1 4. 今日あなたは自分の役割を、**さんやご家族に伝えましたか。 a. はい b. いいえ</p>	<p>役割を伝えている 1点 〃 伝えていない 0点</p>
<p>[1-5] ① あなたは、**さんやご家族に初対面の時に自己紹介しましたか a. 「はい」 b. 「いいえ」</p>	<p>1 5. あなたは、**さんやご家族に初対面のときに自己紹介をしましたか。 a. はい b. いいえ</p>	<p>自己紹介をしている 1点 〃 していない 0点</p>

表17 第三者評価結果と自己評価結果の比較(構造)

質問番号	施設名		A		B		C		D		E	
	第三者評価	自己評価	得点		得点		得点		得点		得点	
			第三者評価	自己評価	第三者評価	自己評価	第三者評価	自己評価	第三者評価	自己評価	第三者評価	自己評価
8-1	8-1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	
8-2	8-2	2	欠損	2	2	2	2	2	2	2	2	
15-1 1)	15-1 1)	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	
15-1 2)	15-1 2)	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	
15-1 3)	15-1 3)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
15-1 4)	15-1 4)	0	該当なし	0	0	該当なし	1	該当なし	該当なし	0	0	
15-1 5)	15-1 5)	該当なし	該当なし	1	1	0	1	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
15-1 6)	15-1 6)	1	該当なし	1	1	0	1	1	1	1	0	
15の得点	15の得点	10	10	6.7	6.67	6	10	10	10	8	6	
12-1 1) (1)	12-1 1) (1)	2	2	2	1	2	2	1	1	1	1	
12-1 1) (2)	12-1 1) (2)	2	2	2	1	2	2	1	2	1	1	
12-1 2) (1)	12-1 2) (1)	2	2	2	1	2	2	1	2	1	1	
12-1 2) (2)	12-1 2) (2)	2	2	2	1	2	2	1	2	2	2	
12-1 3)	12-1 3)	2	2	2	1	2	2	2	1	1	2	
12-2 1)	12-2 1)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
12-2 2)	12-2 2)	2	2	2	1	1	2	1	1	1	2	
12-2 3)	12-2 3)	1	1	2	2	1	0	2	2	0	1	
14-1	14-1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	
7-1 1)	7-1 1)	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	
7-1 2)	7-1 2)	1	1	2	1	1	1	0	0	2	1	
7-2 1)	7-2 1)	2	2	2	0	2	2	2	2	2	2	
7-2 2)	7-2 2)	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	
13-1	13-1	0	1	0	2	0	2	2	2	2	2	
13-2 1)	13-2 1)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
13-2 2)	13-2 2)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	
13-3 1) (1)	13-3 1) (1)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
13-3 1) (2)	13-3 1) (2)	2	2	0	1	0	0	0	0	0	2	
13-3 2)	13-3 2)	2	2	0	0	2	2	2	2	2	2	
9-1	9-1	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	
9-2	9-2	2	2	0	2	0	1	1	2	1	2	
3-1 1)	3-1 1)	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	
3-1 2)	3-1 2)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
3-2 1)	3-2 1)	2	2	1	2	1	2	1	2	2	2	
3-2 2)	3-2 2)	2	2	1	1	1.5	1	1.7	2	1	2	
5-1	5-1	2	2	1	1	1	1	0	0	2	2	
5-2	5-2	1	0	2	2	2	2	0	0	2	2	
4-1 1)	4-1 1)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
4-1 2)	4-1 2)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
2-1 1)	2-1 1)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
2-1 2)	2-1 2)	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	
6-1 1)	6-1 1)	3	3	2	2	2	2	3	3	3	2	
6-1 2)	6-1 2)	3	3	2	1	2	2	3	2	3	2	
10-3 1)	10-3 1)	該当なし	該当なし	0	0	2	1	2	2	2	2	
10-3 2)	10-3 2)	該当なし	0	0	0	1	0	0	0	2	2	
10-3 3)	10-3 3)	該当なし	2	1	1	2	2	2	2	2	1	
10-4 1)	10-4 1)	2	欠損	1	1	2	2	2	2	2	2	
10-4 2)	10-4 2)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
16-1 1)	16-1 1)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
16-1 2)	16-1 2)	2	2	1	1	1	1	2	2	1	2	
16-1 3)	16-1 3)	2	2	2	0	2	2	2	2	2	2	

表18 第三者評価結果と自己評価結果の比較(過程)

質問番号	A		B		C		D		E		
	第三者評価	自己評価	得点	第三者評価	自己評価	得点	第三者評価	自己評価	得点	第三者評価	自己評価
	2-B-1①	1	3	3	未	1	2	3	2	2	2
	1-4③④	2,3	3	3	2	2	3	3	3	3	3
	1-4 ⑤	4	2	0	2	2	2	2	0	1	1
	1-1①②	5	3	3	1	2	3	3	2	3	3
	1-2①②	6-1)	3	0	1	2	3	3	1	3	3
	2-A-1③	6-2)	2	0	0	2	2	2	0	2	2
	1-3 ①②	6-3)	3	3	1	2	2	2	2	2	2
	1-3 ③	6-4)	1	1	0	0	1	1	1	1	1
	3-1①②③③'	7-1)2)3)	1	0	0	0	0	該当なし	0	0	1
	3-2④	7-4)5)	1	0	0	0	欠損	該当なし	0	1	1
	4-B-1~5①②③	8-1)	2	1	1	2	2	1	2	2	2
	4-B-4 ④	8-2)3)	1	2	2	1	0	1	2	1	1
	4-B-6 ⑤	8-4)	3	3	3	3	1	3	0	0	0
	2-A-1⑦①)	8-5)	2	2	2	2	2	3	2	2	3
	2-A-1⑦②)	8-6)	1	0	0	0	0	1	0	0	0
	2-A-1⑦③)	8-7)	1	1	1	0	0	1	1	1	1
	2-A-1⑦④)	8-8)	1	1	0	0	0	1	1	1	1
	4-C-1①②	9-1)	該当なし	0	1	1	0	1	1	1	0
	4-C-1③④	9-2)3)	2	2	2	2	4	2	0	4	4
	4-A-1①②	10-1)2)3)	該当なし	1	1	1	1	2	1	1	1
	6-2①②③	11-1)2)3)4)5)	3	2	3	0	2	3	3	2	2
	5-3①②③④	12-1)2)3)	5	4	5	4	4	5	5	5	5
	6-1①	13	該当なし	2	3	2	3	3	2	3	3
	1-5②	14	1	1	1	0	1	1	1	1	1
	1-5①	15	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	6-3	16	1	1	1	1	1	1	1	1	1

ますか、 [6-2 ①②③と 11-1) 2) 3) 4) 5)] \*\*さんのADL（日常生活動作）を上げていたり、維持していくときのことをお聞きします。①\*\*さんにとって、苦痛や危険が伴うけれども、回復のためや\*\*さんの希望に添うようにケアをすすめたことはありますか、②そのケアをすすめる中で、ケアを中止したことがありますか、それはどんなサインがあって中止しましたか、③（ケアを中止したことがない回答では）\*\*さんではなく今までに経験した患者さんでもかま

ません。苦痛や危険が伴うけれども、回復やその患者さんの希望に添うように看護ケアをすすめる中で、どんなサインがあって中止しましたか。] であった。5施設とも評価が一致していたのは、26項目中6項目で、評価表については今後検討を等する。

(4) 看護 QI プログラム・自己評価の改善点について

以上の結果をもとに、自己評価表の問題点を改善案を表19に示す。

表15 第三者評価と自己評価のプログラムの比較

	第三者評価	自己評価
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーベイヤーによる看護職への面接。看護職が答える際は、カルテ等を見ないで答えてもらう。</li> <li>・第三者による参加観察</li> <li>・記録、書類の評価</li> <li>・施設・設備の評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質評価の依頼を行い、看護職自身が評価ツールを用いて評価を行う。評価表記入後直接研究者に返送する。評価する時点で実際に入院している患者について記載する。過去の体験を想起するものではない。</li> </ul>
評価対象患者の条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>①入院日数が1週間以上であること</li> <li>②疼痛があり鎮痛剤を使用している</li> <li>③看護職による保清が行われている</li> <li>④調査当日に処置検査の予定ある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①疼痛があり鎮痛剤を使用している</li> <li>②看護職による保清が行われている</li> </ul>
自己評価対象看護職の条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーベイ当日に、上記の条件を持つ患者を受け持つ看護職</li> <li>①患者のプライマリーナース</li> <li>②患者のその日の受け持ち</li> <li>③患者を最もよく知っている看護職</li> <li>・選択はサーベイ病棟の婦長に依頼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価ツールへの記載日は特定しないが、上記の条件をもつ入院患者を現在受け持っている看護職</li> <li>・看護職の選択はサーベイ病棟の婦長に依頼</li> </ul>
評価判定方法	インタビューした内容について、サーベイヤーが評価尺度をもとに判定する。	評価判定尺度を用いて、回答者各自が判定し、さらに記述部分に記載する。研究者は自己評価判定結果と、記述部分の内容から、総合的に評価判定する。

## D. 結論

### 1. 第三者型評価プログラム

(1) 評価手順は従来そのままとし、患者と看護職の選定方法を徹底する。

(2) 評価判定尺度について、尺度と配点を継続して検討する。

(3) 他の基準となる、質評価方法との併用による評価は、継続して行う。

表19 看護QIプログラム・自己評価「過程評価」  
Ver. 3作成に向けての検討課題と修正案

Ver.2 原文	問題点	Ver.3 修正案
<p>この質問紙は、婦長さんが選んだ患者さん( * * さん)についてお尋ねするものです。 選択肢の中からどれか一つを選び、&lt; &gt;内の質問にお答えください。</p> <p>1. * * さんの1日の流れについて * * さん本人あるいは、ご家族に伝えましたか。 以下から選択し、その内容を記入してください。</p> <p>a. 1日の流れ(予定)を決める際、患者やご家族と協議した b. 時間や誰がするかという予定を伝えた c. 何が起こるか(あるか)を伝えた d. 予定を伝えていない</p> <p>&lt; 伝えた内容を具体的ににお書きください。&gt;</p> <p>&lt; 伝えていない理由をお書きください。&gt;</p>	<p>① 患者あるいは「家族」について問う質問あり。患者と家族で回答が違つ場合があり、回答者が混乱を招くよつだ。</p> <p>① (ア)1日の流れ「...がいつの時期を指しているのかわかりにくい。(イ)その日の予定なのかあるかは先の予定(例えば「週間後)まで含めて協議した内容なのかわかりにくい。」</p> <p>② (ア)患者との言葉のやりとりのみを書くのか、スケジュールのみなのかわかりにくい。 ・流れを決める」というのは、表現としておかしくないか。</p> <p>③ 質問と選択肢、記述欄の整合性 (ア)「流れを伝えたか」という質問に対し、選択肢では協議したかどうかまで問うている。</p> <p>(イ)4択の質問ではあるが実際には「a. 患者と協議し」、かつ「b. 時間や誰がするかを伝え」、さらに「c. 何が起こるかも伝えた」という場合も想定できる。つまりa, b, cすべてということがあ</p> <p>↑ 以上から重複回答が多かつたのではないか。</p> <p>(ウ)「b. 誰がするかを伝えた」を選択しているも、記述欄には「誰が」が書かれていないので、研究者側で評価するのが困難。その日の受け持ち看護婦が記入するので、主語は「私が」で当然なので、記述欄には記入しないのではないか。</p> <p>④ c. 何が起こるか...では悪い意味にとれるので、何があるかのほうがよいのではないか。</p> <p>⑤ その他、自己評価者の意見 ・1日のスケジュール書くにはスペースが不十分 ・長期入院患者で、1日のスケジュールが決まっている。話す必要がなかった。 ・術後患者で状態に合わせて予定が変わるので、事前に協議はできなかつた。</p>	<p>Ver.3 修正案</p> <p>①・質問紙の最初のこの部分で、「質問の中で患者あるいは家族とある場合はどちらかと対応しているものとしてお答えください」などと書き加える。 ・その上で、この部分の文章の字体を変えたり、大きい文字にするなどして、強調する。</p> <p>① (ア)(イ)この質問に限らず、各質問に「今日の...」と加えてはどうか。</p> <p>② (ア)「今日のスケジュールについて患者さんあるいは...」と修正してはどうか。</p> <p>③ (ア)(イ)に対する修正案 I a. 1日の流れ(予定)を決める際、患者やご家族と協議した b. 協議はしていないが時間や誰がするか、までは伝えた。 c. 協議はしていないが、何が起こるかだけ伝えた。 とする。 II 質問自体を分ける。つまり 「協議しているかどうか」 「伝えたかどうか」 「伝えた内容」 を別の質問にする。</p> <p>III 4択ではなく、複数回答可として、合計得点で評価する。 (ウ) 未</p> <p>④ 未</p> <p>⑤ 未</p>
<p>2. * * さんの身体状態・生活について今一番気をつけていることそれに対しするケアをお書きください。</p>		
<p>3. * * さんの今後の見通しを記入してください。</p>	<p>「見通し」の定義がわかりにくい。 ・急性期とターミナルでは目標が違うので、回答しにくい。 ・設問2と設問3はどちらからか医学的見通しが出ていればよいのか得点の仕方はおおつうするか。</p>	<p>・左記に関し検討した結果、見通しはその人が把握している「見通し」でよいのでは、という結論になった。 ・得点の仕方に関しては、要検討で、修正案は未。</p>



Ver.3 修正案

問題点

Ver.2 原文

<p>4. * さんの見通しを * さん本人あるいはご家族にどのように伝えていきますか 以下から選択し、その内容をお書きください。</p> <p>a. 自分が伝えた、もしくは医師が伝える場を作り伝えた b. 間接的に伝えた(例:誰かに頼んだ、パンフレットを渡した) c. 伝えていない</p> <p>&lt;どうして伝えたのですか、また、伝えていない場合は、なぜ、伝えなかったのですか、具体的に教えてください。&gt;</p>	<p>①内容がどちらでもあてはまるので複数回答になった。 ②「どうやって伝えたのですか」は、伝えた手段を問うているが、理由を質問しているようにわかりにくい。</p>	<p>①未 ②「どうやって伝えたのですか?」と変更し、伝えていない場合は「なぜ伝えなかったか」を質問する。</p>
<p>5. あなたは * さんやご家族が病気についてや入院について、どうなりたいと思っているかを知っていますか。以下から選択し、その内容をお書きください。</p> <p>a. 客観的な根拠及び患者の直接的な言動から確認し知っている b. 患者の反応や言動から察した c. その患者のことではなく一般的な患者の反応から推測した d. 知らない</p> <p>&lt;患者さんやご家族がどうなりたいと思っているのか具体的に教えてください。&gt;</p>	<p>①患者がして欲しいと思うことは複数あるので、a, b, c全ての場合もある。重複回答の要因になる。</p>	<p>①未</p>
<p>6. 患者さんやご家族が望んでいることについてお聞きます。 6-1) あなたは、* さんやご家族がどのような情報が欲しいかと思っているかを知っていますか。以下から選択し、その内容をお書きください。</p> <p>a. 客観的な根拠および患者の直接的な言動から確認し知っている b. 患者の反応や言動から察した c. その患者のことではなく一般的な患者の反応から推測した d. 知らない</p> <p>&lt;それはどのようなことですか、具体的に教えてください。&gt;</p> <p>6-2) その情報を * さんやご家族にどのように伝えましたか。</p> <p>a. 自分が伝えた、もしくは医師が伝える場をつくり伝えた。 b. 間接的に伝えた(例:誰かに頼んだ、パンフレットを渡した) c. 伝えていない</p> <p>6-3) あなたは、* さんやご家族がどのようなことをして欲しいかと思っているかを知っていますか。以下から選択し、その内容をお書きください。</p> <p>a. 客観的な根拠および患者の直接的な言動から確認し知っている b. 患者の反応や言動から察した c. その患者のことではなく一般的な患者の反応から推測した d. 知らない</p> <p>&lt;それはどのようなことですか、具体的に教えてください。&gt;</p>	<p>①どのような情報を欲しいかと思っているかを問う、かつそれを客観的に確認しているかどうかを問う問題だが、この質問では記述欄を含めても客観的に確認しているかどうか判断しにくい。</p> <p>②欲しい情報が複数ある場合は、伝えた方法も複数になる可能性あり 重複回答の要因。</p> <p>③ ①と同じ</p>	<p>①未 ②未 ③未</p>

Ver.2 原文	問題点	Ver.3 修正案
<p>6-4) * * さんやご家族がして欲しいと思っしていることについて、どうしていますか。できるだけ具体的にお願いします。</p>		
<p>7. ご家族のケアへの参加についてお聞きします。 7-1) * * さんへのケアの中でご家族ができることをしてもらっていることはありますか。あるいは一緒にいることはありますか。 ( ) はい → 質問(7-2)、(7-3)、(7-4)へ進んでください ( ) いいえ → 質問(7-5)へ進んでください 7-2) その内容を具体的にお願いします。</p>	<p>① 7-1) では「はい」と答えているが、7-2)、7-3)、7-4)の質問に回答していない人が多い。原因はよくわからない。 ② 「ケアへの参加」の範囲が不明瞭で、質問の意図がわかりにくいという意見が多かった。例えば、「ケアへの参加」を家族への教育指導と解釈したり、看護婦の仕事を手伝ってもらおうという意味だと誤解し、的確に回答できていない人が多かった。 例) 家族に「吸い飲みを取ってあげてください」と言ったら、それは「ケアへの参加」になるのかわからなかった、など。 一結局これも、何を意図して吸い飲みを取って欲しいと言ったのかが問題。回答者にもそれがわかるとよいのではないか。</p>	<p>① 未 ② この質問の最初に「この項目は患者と家族の絆を強めるためのケアについてお聞きします」と書き加える。 ・ダイレクトに「家族の絆を深めるために何をしていますか」と質問する。</p>
<p>7-3) 何故、ご家族と一緒にしようと思っしたのですか。 7-4) ご家族にしてもらおう、あるいは一緒にいるには何かが工夫していますか。 a. 工夫している b. 工夫していない &lt;工夫している場合は、具体的な内容をお書きください。&gt;</p>	<p>③ 「何故」が答えにくい。病院で「基準看護」と謳っているのに、家族にケアを押し付けているような心づかいがある。</p>	<p>③ これもやはり質問の意図を明確にすることで解決するのではないか。</p>
<p>7-5) 何故、ご家族と一緒にしていないの理由があればお書きください。 a. 理由がはっきりしている b. 理由がない &lt;理由がはっきりしている場合、その具体的な内容をお書きください。&gt;</p>		

Ver.2 原文	問題点	Ver.3 修正案
<p>8-1) * * * さんの痛みについてお聞きします。 * * * さんの痛みのコントロールをどのようにしていますか、本人の生活や反応を含めて痛みのコントロールをどのようにしているかを、具体的に記入してください。</p> <p>8-2) その結果、* * * さんの痛みはコントロールされていますか。</p> <p>8-3) 痛みがコントロールされている、あるいはされていないと思う理由を述べてください。</p> <p>8-4) 痛みの治療について医師にどのように働きかけていますか、以下から選択し、かつその内容を記入してください。</p> <p>a. 現状、根拠を含めて改善策を言っている b. 改善策はあるが根拠を述べていない c. 現状を述べているが改善策がない d. 意見を言っていない</p> <p>&lt;働きかけた言葉や内容を具体的に記入してください。&gt;</p> <p>8-5) * * * さんの痛みの状態は本人にどのように説明していますか。</p> <p>a. 原因、根拠を具体的に伝えている b. 具体的ではないが伝えている c. 本人が原因・根拠を分かっていると思うので、伝えていない d. 全く伝えていない</p> <p>8-6) 痛みに対してなぜその方法を用いているか、* * * さんに説明していますか。</p> <p>a. 説明している b. 説明していない</p> <p>&lt;説明している方はどのように説明しているか、具体的に書いてください。&gt;</p> <p>8-7) 痛みに関してどのような看護ケアを提供するか説明していますか。</p> <p>a. 説明している b. 説明していない</p> <p>&lt;説明している方はどのように説明しているか、具体的に書いてください。&gt;</p>	<p>①「生活や反応」の意味がわかりにくい。 ②「コントロール」と言う言葉による鎮痛だけを考慮してしまい、処方のみを述べてしまう。</p> <p>③どうなると「痛みがコントロールされている」状態なのか、判断基準を明記してほしい、という要望が多かった。 例えば、外科では屯用の薬が切れてくると痛みは出てくる。その場合はコントロールされていないのか、などという質問があった。</p> <p>④その日のことを問う質問なのでその日痛みがなく、医師に働きかけていなければ、0点になるのは妥当といえるか。</p> <p>⑤痛みがコントロールされれば医師に意見を言わなくてよい場合がある。根拠をもって意見を言っていないのであれば、得点してもよいのではないか。</p> <p>⑥医師が説明していないから、看護婦もできないことが多い。 医師が説明しているかどうかにより、回答が違ふ。それをケアの質として評価されるのは心外だという意見があった。</p>	<p>① I. コントロールではなくケアの調整をしていますか」とする。 II. コントロール後患者の生活は拡大されたか」とする。 III. 質問を追加して、「鎮痛剤以外に看護婦が行っていることは何ですか」という質問を加える。</p> <p>② I. 参考までに、研究会議で出されたコントロールは次のようなこと。 ・痛みのない状態にいること。我慢している状態ではない。 ・患者の望む状態にすること。例えばスケールでなくともよい。 ・我慢しないで日常生活を送れる状態になっているのがコントロール。 ・控えていれば痛くないので、痛み止めはいらぬ」と言っている患者はコントロールされているとは言わない。 → しかしこうした判定基準を書き加えるかどうかは結論として出していない。</p> <p>II. 「痛みのケアをしたことで患者の生活・反応はかわりましたか」とすると、その看護婦が何を待って判断しているか評価できるのではないか。</p> <p>③ (ア) その日に限定しない質問にする。 ・「ここ1週間くらいの間で痛みの治療について医師にどのように働きかけましたか」。</p> <p>④ 評価尺度に、「改善する必要があるから言っていない」「場合を加えてはどうか。例えば a. 現状、根拠を含めて改善策を言っている b. 改善策はあるが根拠を述べていない c. 現状を述べているが改善策がない d. 意見を言っていない e. 改善する必要があるから言っていない として、eは該当なしとして、得点化しない(第三者評価)より。</p> <p>⑤ 医師が告知の有無に関わらず、何らかの説明はできる、という前提に立った質問。告知していないから何も伝えずによいということではないので、これは現行のままでよい。</p> <p>⑥ ①の「鎮痛剤以外で……」の質問で、解決するのではないか。</p>

Ver.2 原文	問題点	Ver.3 修正案
<p>8-8) 痛みに関する見直しを * さんにどのように説明していますか。</p> <p>a. 説明している b. 説明していない</p> <p>&lt;説明している方はどのように説明しているか、具体的に書いてください。&gt;</p>		
<p>9. ケアの変更についてお聞きします。</p> <p>9-1) * さんの痛みに対し前に行っていたことと、今日あなたが変えたこととはありますか。</p> <p>( ) はい → それはなぜですか。 ( ) いいえ → それはなぜですか。</p> <p>9-2) * さんに限らず、これまでの経験であなたがケア方法を変えたとき、他のスタッフにその内容を伝えましたか、以下から選択してください。</p> <p>a. 伝えた b. 伝えていない c. 該当なし(これまでの経験上、ケア方法を変えたことがない)</p> <p>&lt;a. 伝えた を選択された方は、該当するものすべてに○をつけてください。&gt;</p> <p>( ) 変えた内容 ( ) 変えた理由 ( ) 今後の見直し(例: 次の評価時期など)</p> <p>9-3) どのような方法で伝えましたか。該当するものすべてに○をつけてください。</p> <p>( ) 申し送りなどを通して伝えた ( ) 変更したことを記録に残した ( ) 看護計画を変更した</p>		
<p>10. * さんの保清についてお聞きします。</p> <p>10-1) 今日、実施した * さんの保清に関して患者さん個別性に合わせて、病棟でふたんする保清のやり方に追加したり、修正したことがありますか。</p> <p>( ) はい → 10-2)へ進んでください ( ) いいえ → 10-3)へ進んでください</p> <p>10-2) 追加・修正した内容とその理由をお書きください。</p> <p>10-3) それはなぜですか。</p>		